

高砂駅周辺まちづくり基本構想 最終検討

— 平成 21 年度第 1 回まちづくり委員会 —

去る5月12日に開催された高砂地区開発協議会まちづくり委員会で、「高砂駅周辺まちづくり基本構想（案）」の最終検討を行いました。2月～3月に、高砂二～五丁目の約6千世帯を対象に実施した「まちづくり基本構想（案）アンケート」の集計結果から、まちづくり基本構想（案）は地域住民の共通の理解となったと確認できました。



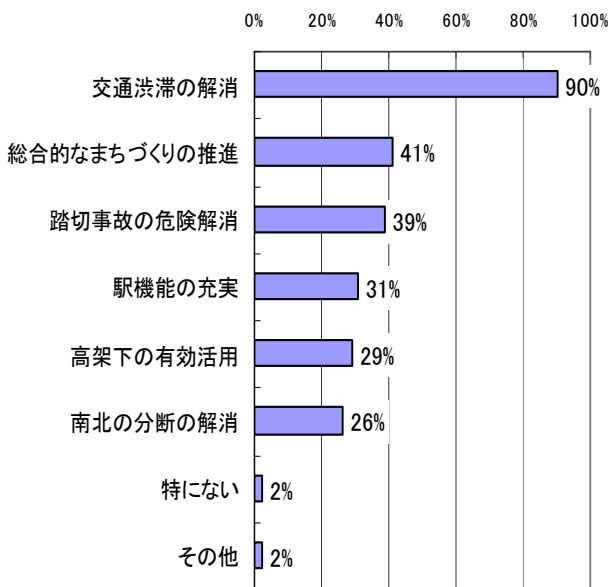
「まちづくり基本構想（案）アンケート」の概要

1. 実施期間 平成 21 年 2 月～3 月
2. 調査地域 高砂二丁目～五丁目
3. 配布数 5,583 世帯（調査地域の全世帯）
4. 回収結果 1,793 件（回収率 32.1%）

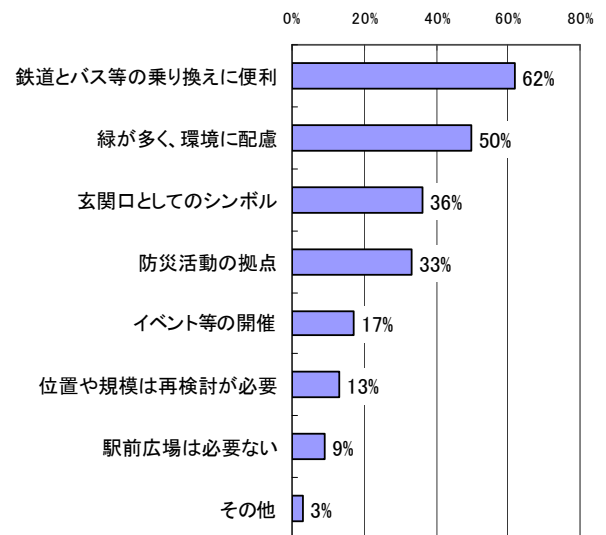
アンケート結果のまとめ

- 鉄道立体化やまちづくりは住民の共通の関心事
- 鉄道立体化による交通渋滞の解消は住民の総意！
鉄道立体化を契機とした総合的なまちづくりが必要
- まちづくり基本構想の柱「鉄道」「道路」「まちづくり」は重要な視点
- 高砂全体のまちづくりには「環境との共生」も重要

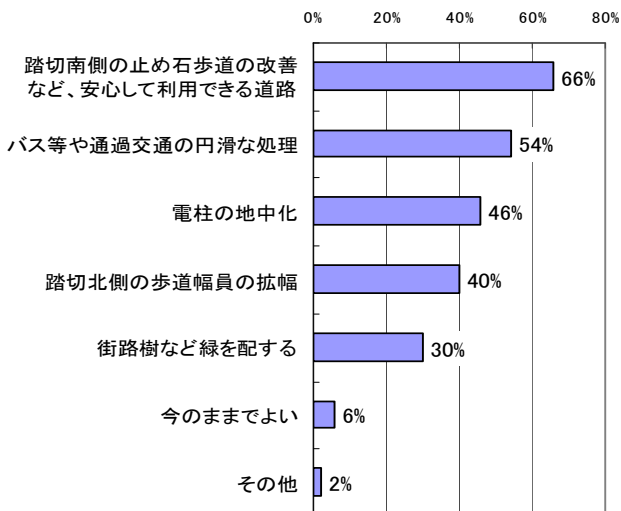
〔問〕鉄道の立体化に期待すること（複数回答）



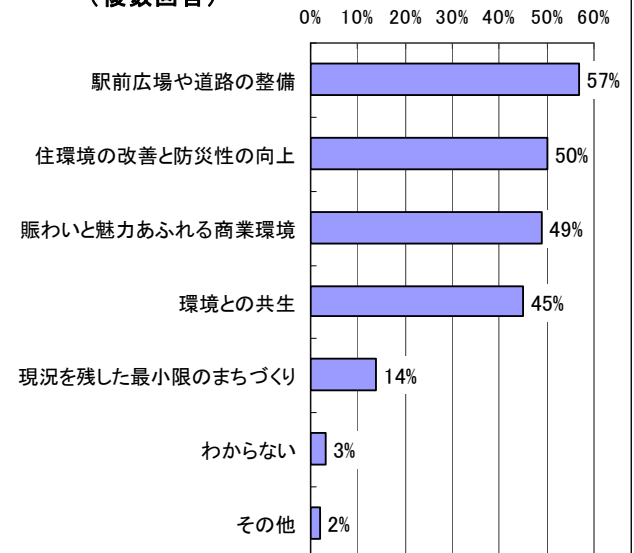
〔問〕駅前広場の整備について（複数回答）



〔問〕アクセス道路の整備について（複数回答）



〔問〕高砂地区全体のまちづくりに重要な観点（複数回答）



～基本構想の具体化に向けて～ まちづくり基本計画を検討します！

平成21年度のまちづくり委員会の活動

今年度、まちづくり委員会では、まちづくり基本構想の具体化を図るため、駅前広場とアクセス道路に必要な機能や駅周辺商業地の将来イメージ、地区に必要な道路、まちの防災性や住環境の向上に役立つ公園、水辺の活用などの検討を行い、まちづくりの具体的な将来イメージを示す「まちづくり基本計画」を作成します。

また、事例視察などを通じて、高砂にふさわしい駅前広場や駅周辺のあり方について検討を深めます。



駅周辺の将来イメージを検討するため
まち歩きを行いました！（平成21年4月）

見て、聞いて、
学んできました！



事例視察報告

東武伊勢崎線草加駅東口・北越谷駅東口と越谷レイクタウン



環境と共生するニュータウンとして造成中の“越谷レイクタウン”

8月12日（水）、今年度最初の事例視察を行いました。視察先は埼玉県東部の玄関口「草加駅東口」、東京都心へ通勤する多くの乗降客を抱える「北越谷駅東口」、そして、広大な水辺を中心とした新しいまちができてつつある「越谷レイクタウン」。高砂にふさわしい駅前広場の規模や必要な機能、駅周辺に必要な公共機能、環境にやさしい取り組み事例や今話題の商業空間など、内容もりだくさんの視察となりました。



店舗前のイベントスペース

★草加駅東口駅前広場・再開発ビル「アコスそうか」



アクセス道路と駅前広場



視察のようす



草加名物「せんべい」にちなんだモニュメント

★北越谷駅東口駅前広場・再開発ビル「パルテきたこし」



駅前広場全景



高架下の駐車・駐輪場利用



パルテきたこし3階にある
越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」と保育
ステーション

成田新高速鉄道の開通に際して 京成本線の鉄道立体化の早期事業化を求める 要望書を提出しました！

高砂地区開発協議会
高砂地区町会連合会



要望書提出にあたり説明を行う石川事務局長

平成 21 年 7 月 28 日、高砂地区開発協議会と高砂地区町会連合会は、連名で京成電鉄株式会社に、「成田新高速鉄道の開通に際して京成本線の鉄道立体化の早期事業化を求める要望書」を提出しました。

協議会からは『抜本的対策である鉄道立体化の進展なく、このまま成田新高速鉄道が開通されることは許されない』とし、鉄道立体化の早期事業化とともに、暫定対策である駅南側階段へのエレベーター設置や金町線利用者のための列車増便などについて要請しました。これを受けた京成電鉄からは、一日も早い鉄道立体化の事業化に向けて力を尽くしていくとの回答をいただきました。

高砂駅南側階段への エレベーター設置について

高砂駅南側に現在設置されているエレベーターは、平成 18 年に高砂地区開発協議会が京成電鉄に要望して実現に至りました。

今回は、金町線高架化工事によって、新たに設けられる出入口（イトーヨーカ堂側）にも利便性と安全性向上のためのエレベーター設置を要請しています。



京成電鉄(株)に要望書を手渡す本田会長



平成 19 年 10 月に完成した
南口エレベーター



新たに設置を要請している箇所

★高砂地区開発協議会とは？

高砂地区開発協議会は、地元 5 町会・4 商店会で平成 14 年に発足した団体で、高砂駅付近の“開かずの踏切”解消に向けてさまざまな取り組みをしています。

1. 京成高砂駅～江戸川駅間の鉄道立体化実現のための活動

国、東京都、葛飾区、京成電鉄(株)へのはたらきかけ（請願書、要望書、署名等の提出）

2. 高砂駅周辺(高砂 2 丁目～5 丁目)のまちづくりに関する活動

- まちの現況把握（まち歩き、まちの問題点・課題点の整理、アンケート調査など）
- まちづくりの事例視察・高砂のまちづくりの検討・まちづくり基本構想の策定

3. 鉄道立体化及び高砂まちづくりに関するPR

「高砂地区開発協議会ニュース」の発行、まちづくり報告会の開催など